

骨髄バンク

1999年10月
骨髄バンクを支援するいばらきの会
会報第5号
発行責任者 牛島英二

発行・骨髄バンクを支援するいばらきの会事務局 〒311-1415 茨城県鹿島郡旭村造谷 605 くるみ屋内
TEL:090-8306-7111/FAX:0291-37-1425/E-mail:yamazaki@kurumiya.com

10月に入っても暑かったり急に冷えたり体調を崩しやすい季節ですが食欲の秋！芸術の秋！
学園祭の秋！元気に楽しくいきましょう！！

いばらきの会新名称決定！

前回の会報で会の新名称募集のお知らせをしました。皆さんからお寄せいただいた各3点から多い順にベスト3を選びその中から会員の投票により決定いたしました。

<投票結果>

- A・骨髄バンクを支援するいばらきの会 6票
- B・いばらき骨髄バンクサポーターの会 3票
- C・いばらき骨髄バンクを支援する会 5票

以上の結果です。よってAの「骨髄バンクを支援するいばらきの会」と決定いたします。

取手市議会

「骨髄移植に対する医療保健の適用拡大に関する意見書」採択

取手市は平成4年6月、全国市町村に先駆けてドナー休暇を導入し、全国キャラバンでも大橋市長直々にアピール文を受け取られるなど市をあげての骨髄バンク活動に積極的です。

同市議会議員で骨髄バンクを支援するいばらきの会会員でもある貫井さんが9月10日「骨髄移植に対する医療保健の適用拡大に関する意見書」を議会に提出し9月27日全員賛成で採択され、全国での各自治体も意見書を提出する運動が出てくるでしょう。署名活動とともに保険適用にむけて勢いをつくのではないのでしょうか。貫井さんのご努力に感謝いたします。

イベント・レポート

最近、当会で実施・参加した主要なイベントについてご報告いたします。

[99.8.29 ふくしボランティアまつり]

場所:日立池の川運動公園体育館 実施内容:チラシ配布とバザー

バザーの売上げ:15,620円 チラシ配布数:約1,000部(登録受付場所と骨髄バンクのリーフレット)

参加人数:9名(瀧さん親子、江尻さん親子、大屋さん、佐藤さん、佐々木さん、佐々木さんの友人、中津川)当日はバザー目当ての来場者が多く、その方々へのリーフレット配布となりました。炎天下の中、時間は朝9時から夕方4時までのイベント、マロー博士のパネルも掲示し興味を持った方への説明も行い

ました。(中津川)

[9.9.5 つくば一斉登録]

9月5日、つくば国際会議場で茨城青年会議所ブロック協議会において骨髄バンク一斉登録が行われました。登録者は32名(県内1ヶ月登録数に匹敵)と、予定70名の半分にも届かない結果となりましたが、昨年の茨城キリスト教大学学園祭の2倍となり、県内2回目としてはまずまずの結果であったと思います。仮に今回100名の登録があったとすると次回以降大きなプレッシャーとなるかもしれず、少々ほっとしたというのが私の本音です。次回つくば国際大では実数50名くらいを狙いたいところです。マスコミへの事前PRなどを周到に準備することにしましょう。

参加者は、事務局長、中津川、佐々木、瀧、鈴木、大屋、牛島Jr. & 牛島の皆さん、県を通じてボランティア参加された水戸の立原(たつはら)さんの9名に、日本JCの細木さん、財団山崎さん、薬務課の大森課長・根本課長補佐・真家さん、血液センターの佐藤副部長・女性職員1名、ドクター1名+ナース2名でした。茨城JCには事前の役員会でのPRの場を与えてもらうなど大変お世話になりました。

今回のドナー登録は準備段階で相当難産いたしました。県や日赤に何度頼んでもなかなかOKがもらえず、一時は断念しかけましたが、財団に協力を呼びかけてもらい、ようやくGOサインが出た時はほっとしました。結果的には、県や日赤方面につながりができて今後の当会の活動には大きな財産ができました。粘り強く交渉することの大切さを勉強させてもらいました。(牛島)

署名活動のその後

各会員のご努力で県内の署名の数は約1000人になり、早速、全国骨髄バンク推進連絡協議会へ発送いたしました。全国での署名の数は推定で約30万名程度ではないかと思われませんが、今なお全国骨髄バンク推進連絡協議会事務局には各地から届いている状況です。署名の最終的な締切は今年いっぱいとする方向になるものと思われますのでまだ署名をお持ちの方はいばらき事務局までお送りください。陳情につきましては国会の委員会構成や役所の新人事をにらみつつ、近日中に厚生大臣に直接署名を提出しそうです。

これからのイベントのお知らせ

< 多くの皆さんの参加をお待ちしています。 >

[いばらきヤング・子どもフェスティバル]

青少年の社会参加活動の促進と青少年健全育成のための
地域活動の活性化を図るために行うイベントです。

日時 : 10月23日(土) 11時~16時 24日(日) 10時~15時

場所 : 日立新都市広場 (駐車場) 日立市桐木田グラウンド

活動内容: バザーと骨髄バンクのチラシ配布

[第2回取手市健康福祉まつり]

日時: 10月31日 日曜日(祭りは30日土曜日もあります。)午前10時から午後3時まで

会場: 取手市保健センター及びその隣のグリーンスポーツセンター緑寿荘の野外周辺

最寄駅は関東鉄道常総線 稲戸井駅から徒歩10分です。

主催: 取手市健康福祉まつり実行委員会

活動内容: 会場内での駐車場で骨髄バンクパンフレット及び県内の登録場所のチラシ配り

集合場所: 上記開催場所の駐車場

集合時間: 午前9時30分

飲食等の模擬店は何件か出る予定ですが飲食等に付きましては各自用意して下さい。

[茨城キリスト教大学・学園祭]

昨年の学園祭では骨髄バンクドナー登録を行いました。今年も骨髄バンク PR を中心に参加します。

日時: 11月3日(祝)

場所: 茨城キリスト教大学(日立市)

実施内容(案): 骨髄バンク展示物、チラシ配布、ビデオ上映、骨髄バンク関連書籍販売

[つくば国際大学でのドナー登録及び骨髄バンクを広めるつどい]

土浦保健所主催によるつくば国際大学でのドナー登録及び骨髄バンクを広めるつどいが開催されます。

日時: ドナー登録 11月14日(日) 午前10時～午後3時(30分毎の受付)

骨髄バンクを広めるつどい 同日の午前10時～午後4時まで

場所: つくば国際大学 学園祭会場(土浦市真鍋6-3960-1)

「骨髄バンクを広めるつどい」実施内容(案)

(1) 骨髄バンクの啓発 午前10時～午後4時まで

骨髄バンク関係ビデオ上映 啓発物等配布

(2) 「骨髄バンクを広めるつどい」午後1時～午後3時まで

骨髄バンク概要説明 骨髄移植推進在団・地区普及広報員 佐々木潤一郎

ドナー経験者体験発表 高橋譲 元患者体験発表 佐藤朗

講演「hideと骨髄バンク」作家 遠藤允

<お願い>

当日はドナー登録と広めるつどいを同時開催するためボランティア参加者が足りません。ご都合のつく方はお手伝いください。多数のご参加をお願いします。

以上イベントへの参加申込みや詳細につきましては事務局(山崎)までご連絡下さい

骨髄バンクのボランティアを応援してください。

骨髄バンクを支援するいばらきの会は、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。

銀行口座 常陽銀行 旭支店 (普)1090586

郵便振替口座 00110 3 127575

口座名 骨髄バンクを支援するいばらきの会

MONTHLY REPORT 1999年 9月号

発行:(財)骨髄移植推進財団事務局 1999年9月16日

日本骨髄バンクの現状(1999年8月末現在)

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,621	2,134	121,399	137,908
患者登録者数	129	130	1,705	8,198
骨髄移植例数	56	43	-	2,183

茨城県の現状(1999年8月末)

	8月	登録者数
ドナー登録者数	20	1,698
患者登録者数		192

注)数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

1. 9月15日(祝)東京でのドナー集団登録会、1日に671人が登録!

9月15日(敬老の日)、東京都内5カ所において1日で1000人のドナー登録を目指す「休日のドナー集団登録会」が開催され、ドナー登録者数は合計671人(新宿124人、池袋178人、錦糸町157人、下北沢98人、町田114人)と、これまでの集団登録会の記録(1日1回177人)を大幅に書き換えました。当日は、スタッフ50人に加えボランティア約200人、合計250人が運営に当たりました。今回の登録会は、東京都が特別な理解のもとに主催者として、5会場のうち4会場で採血を担当されました。日本赤十字血液センターは1会場の採血を受け持つと同時に、最大1000人分までのHLA検査体制を準備していただきました。さらに、骨髄バンク支援ボランティア団体は企画・会場手配、事前広報と当日街頭広報、会場運営支援まで、登録会開催のための大きな推進役を担っていただきました。今回の成功は、ドナー登録30万人を目指す日本骨髄バンクにとって画期的で、全国のドナー登録推進運動に大きなインパクトを与えるものと考えられます。

2. 9月18日早大・大隈講堂で「全国キャラバン・ゴールイベント」開催

骨髄移植2000例突破(5月13日)を記念し、ドナー登録者30万人への願いを込めて行われてきた「骨髄バンク全国キャラバン」(全国骨髄バンク推進連絡協議会主催、7月18日～9月18日)が、いよいよ東京にゴールします。9月18日(土)午後2時から4時半、早稲田大学・大隈講堂にて「感動のゴールイベント」が開催されます。多くの皆様のご参加により、全国キャラバンのゴールを祝福したいと思います。主催者挨拶と厚生省などの来賓挨拶、全国キャラバンの経過報告などがあります。また、骨髄移植経験者や骨髄提供経験者の方々も集まり、それぞれの経験や思いを語ります。一日も早い骨髄ドナー登録者30万人達成と骨髄バンクの充実への思いを新たにす機会となります。

3. 全国キャラバン連動の「ドナー集団登録会」で、1682人が登録!

全国キャラバンが開始された7月18日から9月15日までの約2ヵ月間の「ドナー集団登録会」は、38都市で45回開催され、ドナー登録者数の合計は2203人でした。このうち、全国キャラバンに連動したドナー集団登録会は、28都市で35回行なわれ1682人もドナー登録者数となりました。この2ヵ月間のドナー登録者全体数に占める集団登録会での登録者数は、約4割を占めており集団登録会の有効性が明確になりつつあります。今回のキャラバン連動集団登録会では、1)県庁や市役所職員を主な対象としたもの、2)企業の工場で行われた職域登録会型のもの、3)青年会議所メンバーを主な対象としたもの、などが12回も開催され、新しい発展への芽生えが数多く含まれています。

4. 厚生省の来年度概算要求で「骨髄バンク事業への国庫補助金」が倍増へ!

8月末、平成12年度(2000年度)の骨髄バンク事業への政府(厚生省)の補助金(概算要求)が明らかになりました。

内容は、当財団への補助金が平成11年度予算額1億4485万円から2億9830万円へ106%の増加、日本赤十字社への補助金が同じく3億7592万円から6億4892万円へと73%の増加となっています。当財団への増額内容は、主にコーディネートの充実と迅速化によって、さらに移植例数を伸ばし患者さんを救命する体制を整えるためのものです。日赤への増額内容は、ドナー登録者数の大幅増加を見込んだものです。こうした概算要求の内容は、当財団が目指す方向(移植例数800例の早期達成、コーディネート期間の半減化、ドナー登録者数30万人の早期達成)が、厚生省の強い理解を得たものと言えます。なお、当財団としては、骨髄バンクの運営費への公的補助がさらに充実されるとともに、医療保険適用により患者負担金が廃止(大幅削減)されることを願っています。正式な政府予算案は12月となりますが、骨髄バンクへの補助金の大幅増額が期待されます。

5. 国際協力事業の状況(97年4月～99年8月)・HLA照合サービス状況

日本	米国	予備検索357件(適合229件)、正式登録210件、移植累計49件(8月1件)
米国	日本	予備照会856件(適合25件)、正式登録42件、骨髄提供の実績なし
日本	台湾	予備検索209件(適合22件)、正式登録73件、移植累計4件(8月なし)
台湾	日本	予備照会1件(適合0件)、正式登録1件、骨髄提供の実績なし
日本	韓国	正式登録30件(適合4件)、移植0件
韓国	日本	正式登録5件(適合3件)、提供累計9件(8月2件)、提携前の登録32件・提供6件)
その他の国	日本	正式登録56件、提供累計4件(累計香港へ3件・英国1件)

*)HLA照合8月101件(累計1656件)、うちBMDW照合8月50件(累計786件)

6. 10月からAC新キャンペーンが開始されます。「もえちゃん」母子が再登場です。

10月から、公共広告機構(AC)の新キャンペーンが開始されます。テレビCMには、1昨年のACキャンペーンCMで、大きな共感と感動を呼んだ「もえちゃん」とお母さんが再登場します。移植を終えて元気になった「もえちゃんのありがとう」の言葉が印象的で、ナレーションは前回同様、女優の吉永小百合さんです。AC新キャンペーンでドナー登録が大幅に増えることが期待されます。

7. 患者・家族向けのパンフレット「白血病と言われたら」発行のご紹介
全国骨髄バンク推進連絡協議会の患者相談窓口「白血病フリーダイヤル」が、これまで受けた相談ケースをもとに、相談担当メンバーを中心とした編集委員会によって企画編集を行い、血液専門医師が執筆し監修を受けもったガイドブック「白血病と言われたら 病初期の患者さん・家族に向けて」(発行:全国骨髄バンク推進連絡協議会、1部300円)が発行されました。内容は、病気の理解と治療法、医師・看護婦との関わり方、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオン、骨髄移植と骨髄バンクの概要、医療費・医療保険や年金、患者負担金、社会的な支援制度、Q & A、用語解説、関係図書紹介、骨髄移植病院の状況などで、分かり易く解説しています。突然の発病で困難に直面している患者・家族の方々にとって、病に立ち向かうための力強い味方・参考資料となるものと思います。

申し込みは、全国協議会事務局 Tel 03 - 3356 - 8217、FAX 03 - 3356 - 8637 へ

8. 財団事務局員を募集しています。「登録ボランティア」も募集中です。ご応募を!

コーディネートを業務を中心として、当財団本部事務局員と関東地区事務局員を若干名募集しています。なお、非常勤職員としての募集です。登録ボランティアも募集しています。お問い合わせは財団事務局FAX03 - 3355 - 5090、Eメール toroku - volun@jmdp.or.jp までお願いします